

神経難病の患者さんと支えるひとのための
北祐会神経内科病院

サロン あうる C.M.S.NEWS

VOL. 1 6

不定期
発行

ZOOMで開催！！



地域医療支援部では例年、地域の在宅支援事業所の方々へ向けてサロンを開催しております。今年度はコロナ禍ということもあり、初めてオンライン開催しました。

その内容を広報誌にしましたのでご覧ください♪

『神経難病における コミュニケーション支援』

2021年11月12日18:00～19:30

○講義18:00～19:00

◆神経難病とコミュニケーション障害とは
(講師：NS下川)

◆神経難病におけるコミュニケーション支援の実践
(講師：NS得能、ST檜村、MSW小林)

- 1) はじめに～コミュニケーション支援入門～
- 2) 在宅でできるコミュニケーション評価
- 3) パーキンソン病へのコミュニケーション支援
- 4) 急速に進行する疾患(ALS・MSA等)への対応
- 5) コミュニケーション支援のサイクル
- 6) 機器導入に関わる制度
- 7) 当院病棟での実際

○意見交流会 19:00～19:30

【意見交流会でのご意見を一部ご紹介します♪】

「在宅では先に進行し失われていく機能を見通して必要な機器を導入する際に本人の受け止めのことを考えると、難しいと感じることがある」

「コミュニケーション能力が低下しているクライアントの支援が難しい。言いたいことが表出できているのか、聞き取れているのか不安になる」

意見交流会では、神経難病のコミュニケーション方法についての困りごとが多く語られていたり、日頃の利用者さんとの関わりで大切にされていること等のお話がありました。
たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

【アンケート結果】

○ご意見

- ・「開催時間については2時間は必要だと感じました。」
- ・「コミュニケーション支援での評価の仕方や介入プロセス、社会資源の活用といった一連の支援の進め方のイメージが参考になりました。」

○今後取り上げてほしいテーマ

- ・摂食嚥下のポジショニング
- ・神経難病における環境調整

「ALSの支援をしているが、呼吸筋低下による呼吸機能の低下とそれによる体重減少という悪循環の中で、胃瘻造設や医療処置の選択や情報提供のタイミングについてスタッフ間で話し合うことが多い。主治医に任せるだけではいけない難しさを感じている。延命になるのか？十分に理解して決めたのか？胃瘻をしないとどうなるのか？等、支援していても不安がある。」

地域医療支援部は、今後もいろいろな取り組みに
チャレンジしていきたいと思えます。
一緒にチャレンジしてくれる仲間を大募集！！



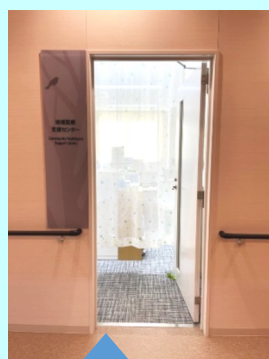
北祐会神経内科病院は生まれ変わります

2022年 GRAND OPEN 予定

2019年12月より着工した建て替え工事ですが、2021年7月より第1期工事が竣工、新病院での診療を開始しました。2022年にグランドオープン予定となっております。新病院の中身を少しだけご紹介いたします♪

院内案内

- 5F 医局
- 4F リハビリテーションセンター
- 3F 病室 301-320
- 2F 病室 201-220
- 1F 診察室1-4 中央処置室
リハビリテーションルーム
診察室(リハビリテーション)
生理検査室1・2 放射線科
地域医療支援センター
- 受付・会計
- B1 管理エリア



1階は主に外来診療スペースです。以前と比べ明るい印象になりました。外来専用リハビリスペースも設けられました。

私たちはこちら1階の地域医療支援センターにあります。



外来のトイレの数も増え、キレイになりました。

2階、3階に入院病棟があります。各病棟に入浴設備が完備され、トイレの数も増え、どの病室からもトイレに行きやすくなりました。また、大部屋は以前の6人部屋から4人部屋に変わりました。



【お願い】



現在も当院では、新型コロナウイルス感染症対策として、面会が禁止となっております。また入院前のPCR検査の実施をしております。引き続き皆様にもご協力等をいただくことがあるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

当院HPからWEBで院内の内覧ができます。是非ご覧ください♪

お気軽に
お問合せください！

北祐会神経内科病院 地域医療支援部
直通TEL：011-631-1169／直通FAX：011-631-1172
代表TEL：011-631-1161／代表FAX：011-631-1163

